

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	1046	上野歴史民俗資料館維持管理経費	会計	01	一般会計
基本施策	36	歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	款	10	教育費
			項	05	社会教育費
			目	02	文化財保護費
担当部課名		教育委員会 生涯学習課 文化財室	細目	102	文化財施設維持管理事業
作成者氏名	中川 秀也	連絡先 22-9681	細々目	05	上野歴史民俗資料館維持管理経費

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	伊賀市に関連する民俗資料及び歴史資料 市民や観光客	・適正に収蔵・展示される。 ・伊賀市の歴史・文化を理解してもらう。
本年設置目的	伊賀市に関連する民俗資料及び歴史資料を収蔵・展示し、広く観覧に供することにより郷土文化の振興に資することを目的として上野歴史民俗資料館を設置する。	
事業内容	施設設備の維持管理を、入館料の徴収事務を行う。また、自主事業として企画展示と講座を行う。	
運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先:(財)伊賀市文化都市協会)	根拠法令・要綱等 上野歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例
市内の類似施設	史跡旧崇廣堂・名勝及び史跡城之越遺跡・旧小田小学校本館・	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0.25	0.25
	人件費合計(A)	3,600	1,800	1,800
②支出内訳 (千円)	事業費(B)	9,022	7,812	7,812
	委託料	8,113	7,812	7,812
	企画展運搬費	416		
	印刷製本費	116		
	その他	377		
合計(A+B)		12,622	9,612	9,612
③財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	入館料	473		
	受益者負担 その他特財			
一般財源		12,149	9,612	9,612
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
入館者延べ人数	人	3,419	3,500	3,500			
入館料収入	円	472,500					

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
入館者延べ人数	市民が生涯学習に役立てる。	人	3,419 目標 ()	3,500	3,500
		円	目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

平成18年4月1日から指定管理(文化都市協会) 企画展示を継続して行うことを要請している。
バリアフリーの施設としてエレベーターの保守点検費用が他の施設にはない経費として必要である。利用者増のためには常設展示だけでなく、企画展が必要で、そのための費用が必要である。市内の子供たちの学校の授業としての参観に対して減免をしてきたが、今後見直すかどうか検討中である。

評価	必要性	4	利用率向上等の改善の検討	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A